

浙江省2014年10月高等教育自学考试

日本文学选读试题

课程代码:00612

请考生按规定用笔将所有试题的答案写在答题纸上。

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。
2. 用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

一、次の傍線部の漢字をひらがなで書きなさい。(10% 1×10)

1. 文学のおもしろさは人生そのものに緊密に結びついているからである。
2. 未来への憧憬の道、また、過去への郷愁を誘う道にもなった。
3. だからこそその援助は彼から快く受けてもらえるのではないのでしょうか。
4. 暮れも迫ってぎりぎりになって、その無理が一気にあふれ出た。
5. 神経質で、物事にすぐ感じて、いらいらしている人がいる。
6. ここには実体と象徴のある程度の合致がもちろんあるわけであるが、
7. 彼女が祖父母の家にやって来たのは、土筆や蓬のころだった。
8. 舗道を男たちや女たち、それに子供たちが歩いていた。
9. 時折自分をじっと監視しているように思われることがあった。
10. 秋空が晴れすぎたためか、日に近い海は春のようにかすんでいた。

二、次の傍線部の仮名を漢字で書きなさい。(10% 1×10)

11. そこへ着いたら、僕はもうえいえんに別れなければならない。
12. 日本の音楽はちょうせいをひたすら体験的なものとして感じ、伝承してきたのである。
13. とことん相手を責め、ひなんした。
14. そのほかのことは一切判らないが、それだけにじゅんすいでさっぱりしている。
15. 遂に蛇口が破裂して水の激しく噴き上げるこうけいが静子の頭をよぎった。
16. 多少のこんなんがあっても、この人と結婚したいものだと思った。
17. うちへ帰ってげんぞうしてみたときには驚くだろう。
18. 下人は老婆の答が存外、平凡なのにしつぼうした。
19. 彼は元来むくちな男でした。
20. しかししょうじきなお爺さんかなと客はすぐ思った。

三、穴埋め(10% 1×10)

21. 『鳥』の作者は( )であり、日本のペンクラブ副会長、( )賞選考委員。1994年『万延元年のフットボール』、『( )』などでノーベル文学賞を受けた。

22. 「千里の旅、万巻の書——旅とはいろいろに考えられよう。」という文は『( )』という文章から抜き出されたのである。この文章は『( )』(1978・4 ダイヤモンド社)によったものである。その作者の名前は( )である。
23. 『冬——風立ちぬ』の作者は( )である。1926年に中野重治らと同人誌『驢馬』を創刊。1930年に「( )」で文壇デビュー。
24. 『方丈記』の作家は( )であり、建暦二年(1212)、六十歳の時の( )である。

四、次の文章を読んで、次の間に答えなさい。(24% 2×12)

#### 文章 I

雨があがったあと、①すばらしい速さで雲が切れ、実に涙ぐましい青色の秋の空が現れる。そこへたちまち夕暮れが暗い影と金色のつやをみなぎらせていった。かれは乾いた血と薬品とで頭一面をごわごわさせ横たわったままそれを見つめていた。眠っているあいだ涙を流しつくしたらしい、今、まぶたの裏側は熱くなっていた。そしてかれは体を起こす気力もなくうちのめされていた。

②えたいの知れないものがかれの背の下のシーツをぬらして、そこから寒さが血のように脈搏を打って伝わって来た。かれは自分がかぜをひきこんでしまいそうなのを感じていた。(③) いったんそれをひいてしまうともう一生の間、ああ長い長い一生の間それから回復することができないような気がした。

母親がごく控えめな足音をたてて部屋へ入って来ると⑤窓を厚いカーテンで閉じ座した。しかし彼女は明かりをつけようとはしないで、かれの枕ともに白く小さな顔、くちびるがしわよって突き出した顔をじっと支えながら座り込むのだ。そしてかれの肩をゆすり、かれのくちびるにあたたかいポタージュを注ぎ込む。かれは息を詰まらせてせきこみ、じんじん痛む頭にうめきながら無気力に少し吐いた。しかし空腹がかれを締めつけるので、しょうこりなくかれはくちびるを開いてポタージュを吸い込みつづけるのだ。

「かわいそうに、かわいそうに。どんなにつらかったでしょう。」と母親はささやきかけた。「あなたが帰りがあってあんまり死にも狂いで暴れるから救急車で運んでもらったのよ、あなたの鳥たちに会いたかったのね。」

④かれはぎくっとし目を凝らして実に貧しい母親の狭い額を見上げた。かれは《鳥たち》についてもうけっして考えてはいなかった、あれは汚らしい空想にすぎない、おれが汚辱に満ちているとき支えにならない。

25. 文中の①には、「すばらしい速さで雲を切れ、実に涙ぐましい青色の秋の空が現れる。」とあるが、映っている「かれ」の気持ちは次のどれか、A、B、C、Dから一つ選びなさい。(2点)

- A、明るい
- B、嬉しくて、思わず涙が出るほどだ
- C、悲しくて、思わず涙が出るほどだ
- D、晴れ晴れしている

26. 文中の②の「えたいの知れないもの」とは何か、答えなさい。(5字以内)(2点)

27. (③)に入る最も適当な言葉はどれか。(2点)

- A しかし B それで C そして D それに

28. 文中④には、「かれはぎくっとし目を凝らした」のはなぜか、理由にならないものは次のどれか、A、B、C、Dから一つ選んで○をつけなさい。(2点)

- A、母親は鳥たちについて確かめようとしたから
- B、母親は言葉がやさしかったから
- C、母親は鳥たちについて関心を持つようになったから
- D、母親は鳥たちのことを持ち出してかれを慰めようとしたから

## 文章Ⅱ

友情は恋愛と並んで、僕らの感情生活に大きな地位を占める要素です。

まず始めに、その似たところを考えてみると、この二つは親子兄弟のような血縁と違って、本質的に他人どうしの邂逅から生まれるので、したがってその底には選択と自由意志とがまず前提されています。だからそれは多少(①)独立した人格と反省とを前提としているので、例えば、子供②どうしの間には、恋愛は(③)、本当の友情もないわけです。子供は環境がかわれば遊び友達もすぐ変わります。そして僕らの小学校時代の同級生などは、その後何かの交渉が続かなければ、名前も顔も忘れてしまうのがふつうです。

29. (①)に入れるのに最も適当なものを選びなさい。(2点)

- A におうじて B において C にかかわらず D とかかわらず

30. ②「どうし」の漢字の書き方はどれか。(2点)

- A 同士 B 同志 C 同氏 D 同視

31. (③)に入れるのに最も適当なものを選びなさい。(2点)

- A もっとも B もちろん C とにかく D まったく

32. この文章の内容と合わないものはどれか。(2点)

- A 友情と恋愛は本質的に他人同士の邂逅から生まれるものである。
- B 友情と恋愛は似ているところがある。
- C 僕は小学校時代の同級生の名前も顔も覚えていない。
- D 子供同士の間には恋愛も本当の友情もない。

## 文章Ⅲ

月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人(1)。舟の上に生涯を浮かべ、馬の口をとらへて老いを迎ふる者は日々旅にして旅をすみかとする。古人も多く旅に死せるあり。予もいつれの年よりか、片雲の風に誘はれて、漂泊の思ひやまず、海浜にさすらへ、去年の秋、江上の破屋にくもの巢を払ひて、やや年も暮れ、春立てる霞の空に白河の関越えんと、そぞろ神の物につきて心を狂はせ、道祖神の招きにあひて取るもの手につかず、ももひきの破れをつづり、笠の緒をつけ替へて、三里に灸するより、松島の月先心にかかりて、住る方は人に譲り、杉風が別荘に移るに、

草の戸も住替わる代ぞひなの家  
面八句を庵の柱に懸置。

33. 「旅人」と同じ意味を持つ言葉を答えなさい。(2点)

34. 「古人も多く旅に死せるあり」とは、古人に対する作者のどういう気持ちを表しているか、次から選びなさい。(2点)

- ア. 恐怖 イ. 悲哀 ウ. 同情 エ. 敬慕 オ. 期待

35. 旅に出たいという思いを芭蕉はどのように表現していますか。原文中から抜き出して五字で答えなさい。(2点)

--	--	--	--	--

36. 「草の戸も住替る代ぞ雛の家」について、「草の戸」とは異なるものを次からひとつ選びなさい。(2点)

ア. 江上の破屋    イ. 住める方    ウ. 杉風が別荘    エ. 庵

五、次の内容を簡単に解釈しなさい。(20% 5×4)

37. 古今和歌集

38. 徒然草

39. 夏目漱石

40. 松尾芭蕉

六、論述(26% 13×2)

41. 万葉集について簡単に説明しなさい。そして柿本人麻呂の「東の野にかぎろひの立つ見えてかへりみすれば月かたぶきぬ」を口語に訳しなさい。

42. 志賀直哉の作品は私小説、心境小説と呼ばれるものが多い。彼の「城の崎にて」はまさに心境小説の代表作である。心境小説の意味および「城の崎にて」のあらすじを紹介しなさい。